

対象地域：愛知県

再生課題：森林整備



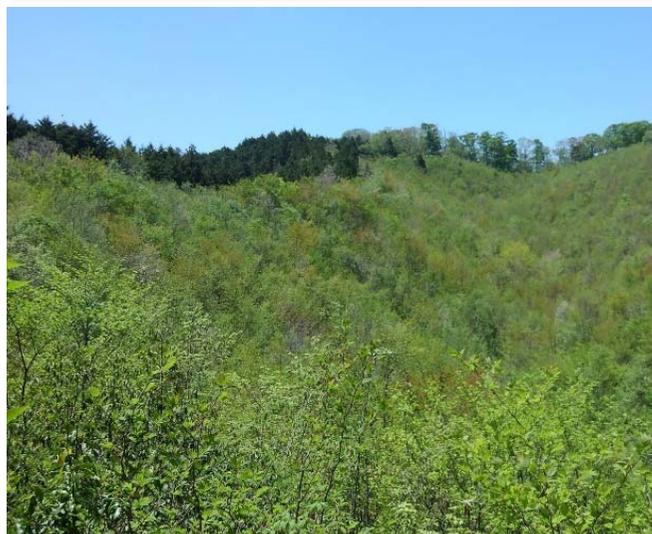
ほのくにもりづくりのかい

特定非営利活動法人穂の国森づくりの会

再生 目標

かつて穂の国と呼ばれた愛知県東三河地域の森林の公益性と豊かな伝統を確認し、流域市民、企業、行政のパートナーシップのもとで、東三河の森林保全・育成、再生を通じて、循環型社会の実現を図る

- 事務局
特定非営利活動法人
穂の国森づくりの会
- 対象地域
愛知県東三河地域
- 活動開始：H9. 4. 12
(NPO法人化 H12. 9)
- 活動計画：H9. 4. 12
(R4. 2現在)



東三河地域は、森林の約8割がスギやヒノキの人工林です。管理不足の森林が多くなることで水源涵養や土砂災害の緩和等、森林の多面的機能が低下してしまうことが危惧されています。

本地域は木材生産のために皆伐された跡地であり、林野庁の「ふれあいの森制度」に基づいて本NPOで森林を育成することになりました。当初は人工林を再造林する予定でしたが、多面的機能をより向上させるため、隣接する「段戸裏谷原生林」と同じような森林を再生することにしました。「段戸裏谷原生林」の植生調査を基に、ブナ、ミズナラ等の落葉広葉樹やモミ、ツガ等の常緑針葉樹を植樹し、その後は下刈り、除伐等の森林整備を継続しています。植樹には、豊川下流域の小学生や様々な団体が参加しており、森林観察会なども随時開催しています。



小学生植樹

自然再生の手法

- 多面的機能を持つ森林の再生
- 除伐等の森林整備活動
- 森林観察会

ここに注目!

漁業関係者との連携

森林の再生が海の環境保全に繋がることから、豊川の蒲郡市の漁業関係者と県立三谷水産高等学校の生徒が、毎年「三河湾漁民の森づくり活動」として森林整備に参加しています。この活動のための資金は、(公財)豊川水源基金の「水源林保全流域協働事業」の助成により開催しています。



漁民の森活動